

LRQA独立保証証明書

富士フイルムホールディングス株式会社のサステナビリティレポート 2026 に掲載される 2025 年度環境データに関する保証

この保証証明書は、契約に基づいて富士フイルムホールディングス株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、富士フイルムホールディングス株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、サステナビリティレポート 2026 に掲載される 2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の富士フイルムホールディングス株式会社の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000 (改訂版)及び温室効果ガス（GHG）については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社とその国内外連結会社 253 社における運営及び活動 に対して、以下の要求事項を対象とする。

- GHG プロトコルに沿って会社の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価

環境¹

- Scope 1 GHG 排出量² (千 tCO₂e)
- Scope 2 GHG 排出量 [マーケット基準及びロケーション基準]³ (千 tCO₂e)
- Scope 3 GHG 排出量 Category 1-3、5-8、11、13-15⁴ (千 tCO₂e)
- 総採水量⁵、総排水量⁵ (千 m³)
- 廃棄物総排出量⁶ (千 t)
- フロン類排出量 [PFC, CFC, HCFC, HFC]

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、

¹ GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

² フロン類の対象活動は、冷蔵冷凍機器の新規設置および廃棄時の漏えい量を含まない。また、富士胶片制造精密制品（深圳）有限公司、富士フイルム和光バイオソリューションズ株式会社及び一部の国内外販売会社は集計対象外。従業員数が10人未満の連結会社は集計対象外。

³ 富士胶片制造精密制品（深圳）有限公司、富士フイルム和光バイオソリューションズ株式会社及び一部の国内外販売会社は集計対象外。従業員数が10人未満の連結会社は集計対象外。

⁴ Scope 3 Category 15 の算定においては、組織の持分法適用会社27社が対象。そのうち、12社の売上高は資本金を用いた推計値（PCAF Score 5）。

⁵ 富士フイルム医療ソリューションズ株式会社、富士フイルム和光バイオソリューションズ株式会社及び一部の海外製造会社は、集計対象外。FUJIFILM Europe Management GmbH、FUJIFILM ASIA PACIFIC PTE. LTD.、富士フイルムビジネスエクスパート株式会社、富士フイルムイメージングシステムズ株式会社、株式会社富士フイルムテクノサービス、FUJIFILM North America Corporation、FUJIFILM do Brasil Ltda.、FUJIFILM Healthcare Americas Corporation 及びFUJIFILM Holdings America Corporation 以外の国内外非生産会社は集計対象外。

⁶ オフィスの一般廃棄物は、東京ミッドタウン本社、西麻布本社、横浜みなとみらい事業所に入居する法人のみ集計対象。それ以外のオフィスの一般廃棄物は、集計対象外。製造会社においては、富士フイルム医療ソリューションズ株式会社、富士フイルム和光バイオソリューションズ株式会社及び一部の海外製造会社は集計対象外。

公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 表 1 に要約される正確で信用できる GHG 排出量と主な環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準⁷、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

保証手続

LRQA の保証業務は ISAE3000 (改訂版) と GHG については ISO14064-3 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプル手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2025 年度の環境データに関する記録および情報の検証を行った。
- 富士フイルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社九州製造本部と富士フイルムマニュファクチャリング株式会社竹松事業所を訪問し、データの収集及び記録管理の実施状況の確認を行うと同時に、敷地範囲においての現場確認を実施した。

観察事項

- 高いレベルにある会社のデータマネジメントシステムを継続して維持し、さらなる改善の機会を積極的に模索し、環境データの効率的かつ正確な集計及び算定を確実にすることを期待する。

基準、適格性及び独立性

LRQA は ISO14065 “温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準¹と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQA は、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQA は会社の ISO 9001, ISO 14001 の認証機関である。検証・認証評価は、LRQA が会社に対して行っている唯一の業務であり、そのため LRQA の独立性や公平性を損なうものではない。

⁷ 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

署名

2026 年 7 月 7 日



河津恵鈴

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F



由岐中一順

LRQA テクニカルレビューアー

LRQA reference: YKA00001397

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2026.

表 1 富士フイルムグループの環境データの要約

項目		
Scope 1	GHG 排出量	526 千 tCO ₂ e
Scope 2	GHG 排出量 (ロケーション基準)	391 千 tCO ₂ e
Scope 2	GHG 排出量 (マーケット基準)	336 千 tCO ₂ e
Scope 3	GHG 排出量	
	Category 1	5,593 千 tCO ₂ e
	Category 2	1,888 千 tCO ₂ e
	Category 3	165 千 tCO ₂ e
	Category 5	32 千 tCO ₂ e
	Category 6	53 千 tCO ₂ e
	Category 7	29 千 tCO ₂ e
	Category 8	0 千 tCO ₂ e
	Category 11	222 千 tCO ₂ e
	Category 13	0 千 tCO ₂ e
	Category 14	1 千 tCO ₂ e
	Category 15	2 千 tCO ₂ e
総採水量		41,425 千 m ³
総排水量		35,089 千 m ³
廃棄物発生量		94.4 千 t
PFC 大気排出量		0 kg/生産量 t
CFC 大気排出量		0 kg
HCFC 大気排出量		393 kg
HFC 大気排出量		3,124 kg